

軽量化、モジュール化で拡大する自動車樹脂部品！



樹脂別、メーカー別に採用状況、

生産(成形)および材料調達状況、成形設備の保有状況を解明！

自動車樹脂部品の

好評受付中！

生産状況と材料調達 2006年版

2006年9月3日発刊

■体 裁：A4判／450頁
 ■定 価：102,900円
 (価格は税込、送料込み)

株式会社 アイールシー

本社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL 052-451-8221(代) FAX 052-451-8225
 IRC東京：〒101-0023 東京都千代田区神田松永町7 TEL 03-3255-3461(代) FAX 03-3255-3463

<http://www.eIRC.co.jp> でも調査資料の詳細がご覧いただけます。

発刊にあたり

自動車における樹脂材料の採用は、現在では内外装部品に限らず、エンジン及びパワートレイン系、シャシー関連や各種エレクトロニクス部品など、あらゆる部位に広がっている。特に、90年代の欧州に端を発するモジュール化の動きが国内にもおよび、設計自由度が大きい樹脂を用いた複合部品への切り替えが進むにつれ、樹脂の使用比率は高まっており、今や乗用車1台に使われる樹脂材料は重量比で8～10%に達している。この一方で、2005年1月から自動車リサイクル法が施行されたこともあって、最近では樹脂材料の選択も性能及びコストと並んでリサイクル性が重要視され、PP(ポリプロピレン)の使用量が拡大している。さらに近年では地球温暖化防止、循環型社会の構築に貢献する新たな資源として、植物を原料にした生分解性(バイオ)プラスチックが開発され、それを材料とした自動車部品の量産が始まっているほか、再生材料を使った部品の採用も増えており、業界をあげて循環型社会実現に向けた取り組みを積極展開してきている。

本調査資料は、「自動車樹脂部品の生産状況と材料調達2001年版」の約5年振りの改訂版として、軽量化やモジュール化に加え、リサイクル対応などの要因が絡んで、果たす役割が大きくなりつつある自動車用樹脂材料を素材ごとに解説するとともに、自動車部品への使用状況を最近の技術動向を踏まえて詳報します。また、部品別の樹脂採用状況をするほか、自動車メーカーはじめ、グループ/独立・部品メーカー各社の樹脂部品の生産(成形)及び材料調達状況、保有設備などを調査・整理しています。貴社にて是非ご利用下さい。

《内容見本》 「自動車樹脂部品の生産状況と材料調達 2006年版」より

第 - 2 表 日産自動車の樹脂部品生産体制				第 - 3 表 グループ別P樹脂部品の生産状況と材料調達(6)				
成形担当工場	所在地	樹脂成形設備・保有台数	樹脂部品	グループ・メーカー名	生産品目	生産規模	材料調達量(月間:t)	原材料調達先
追浜工場	神奈川県横浜須賀野夏島町1 〒237-8523 電 0468-67-5000	射出成形機	バンパー (月間約3)	マツダ(株)	バンパー及びバンパーライン	月間3万1,000本	月間310t	プライムポリマー
					ホースメント	月間7万台分		
栃木工場	栃木県河内郡上三川町 上蒲生2500 〒329-0692 電 0285-56-1204	射出成形機	バンパー (月間1万3)	スターライト工業(株)	カウルグリル	月間5,000台分	月間380t	サンアロマー、プライムポリマーなど
					ラジエーターグリル	月間7,000台分		
九州工場	福岡県京都郡苅田町 新浜町1-3	射出成形機	バンパー (月間約5)	南条工業(株)	シートガーニッシュ	月間6,000台分	月間15t	三菱商事プラスチック
					ドアポケット	月間2,400台分		
株式会社 ○○○○○○○○○				南条装備工業(株)	ドアトリム	月間7万台分	月間570t~640t	日本ポリプロ、住友化学
[本社] 名古屋市○○区○○○-13-4 〒450-○○○ 電 052-○○○-○○○					キャリアブレート	月間4万台分		
[資本金] 7億2,000万円 [代表者] ○○○○ [従業員総数] 2,118名				西川化成(株)	ドラックボード	月間1万台分	月間450t前後	プライムポリマー、台湾輸入材、内製
樹脂					バンパー	月間2万8,000台分		
生産品目・規模(原材料)				グループ別P樹脂部品の生産状況と材料調達(6)				
SPライナー/月間3万台分(ABS)、サイドモール(PVC、PP)、ルーフモール(PVC、TPU)、ビラゲーターニッシュ(PP)、インストルメントパネル/月間4万2,000台分(基材にPP、表皮・パッドにPUR)、シートパッド(PUR)、インテークダクト(PE)、バンパー(PP)、サイドパネル(PP)、シートクッション(PUR)、ヘッドレスト(PUR)、アームレスト(PUR)、成形天井/月間8万6,000台分(PUR)など				ドアトリム	月間3万台分	月間3万個(PE製含む)	-	-
原材料調達量(調達先)				シート廻りカバー	月間3万台分			
PUR/月間220t前後(住友バイエルウレタン他)、PP/月間500t前後(プライムポリマー、日本ポリケム他)、PVC/月間500t前後(アブコ他)、ABS/月間100t前後、PE(日本ポリエチレン)、TPUなど				ムなどトラ	月間1万台分(PE製含む)	月間15t	日本ポリプロ	
納入先				レー	月間1万台分(PE製含む)			
トヨタ自動車、日産自動車、三菱自動車、ホンダ、マツダ、スズキ、ダイハツ、日野自動車など				ルーバーな	月間3.5万台分	月間5t	クオドラント・プラスチック・コンボジット・ジセ	
					月間6万4,000台分(ABS、PMMA、PC製含む)	月間40t	プライムポリマー、日本ポリプロ	
					月間9万台分	月間500t	日本ポリプロ	

[目 次]

第I部 自動車樹脂部品の実態

第I章 自動車樹脂部品の現況

第II章 自動車樹脂部品の概要

II-1 自動車樹脂材料の種類

II-2 部品別樹脂材料の採用状況

II-3 素材転換の動向

第III章 自動車樹脂部品の製造方法と設備

第IV章 自動車リサイクル法の概要と主要メーカーのリサイクル対策

IV-1 自動車リサイクル法の概要

IV-2 自動車・部品メーカーのリサイクル対策

IV-3 材料メーカーのリサイクル対策

第II部 熱可塑性樹脂の材料別部品生産状況と材料調達の実態

第I章 PP (ポリプロピレン)

I-1 PP樹脂の特性と部品別採用状況

I-2 グループ別生産状況と材料調達 (以下、各項同じ)

第II章 PE (ポリエチレン)

第III章 ABS (アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン)

第IV章 PVC (塩化ビニル)

第V章 PMMA (メタクリル)

第VI章 PA (ポリアミド)

第VII章 POM (ポリアセタール)

第VIII章 PC (ポリカーボネート)

第IX章 変性PPE、PPO

第X章 PBT、PET

第XI章 熱可塑性エラストマー

第XII章 PUR (ポリウレタン)

第XIII章 バイオ(生分解性)プラスチック

第XIV章 その他樹脂

第III部 熱硬化性樹脂の材料別部品生産状況と材料調達の実態

第I章 PF (フェノール)

I-1 PF樹脂の特性と部品別採用状況

I-2 グループ別生産状況と材料調達

第II章 FRP (繊維強化プラスチック)

II-1 FRP樹脂の特性と部品別採用状況

II-2 グループ別生産状況と材料調達

第IV部 グループ別自動車樹脂部品の生産状況と材料調達

第I章 トヨタ自動車の樹脂部品生産状況と材料調達

I-1 樹脂部品の採用状況

I-2 樹脂部品の生産状況と材料調達

I-3 グループ別樹脂部品の生産状況と材料調達 (以下、各項同じ)

第II章 日産自動車の樹脂部品生産状況と材料調達

第III章 ホンダの樹脂部品生産状況と材料調達

第IV章 三菱自動車の樹脂部品生産状況と材料調達

第V章 マツダの樹脂部品生産状況と材料調達

第VI章 スズキの樹脂部品生産状況と材料調達

第VII章 ダイハツの樹脂部品生産状況と材料調達

第VIII章 富士重工の樹脂部品生産状況と材料調達

第IX章 いすゞ自動車の樹脂部品生産状況と材料調達

第X章 日野自動車の樹脂部品生産状況と材料調達

第XI章 日産ディーゼルの樹脂部品生産状況と材料調達

第XII章 三菱ふそうトラック・バスの樹脂部品生産状況と材料調達

第V部 独立系・協力部品メーカーの樹脂部品生産状況と材料調達

第I部では、自動車に使用される樹脂部点を部位ごとにみていくほか、その樹脂材料の種類、素材転換の動きなどを明らかにします。また、樹脂部品の製造方法と設備に加え、自動車リサイクル法の概要、リサイクル対策について報告します。

第II部、第III部では、熱可塑性及び熱硬化性樹脂のうち、自動車向けの主要な樹脂を取り上げ、その特性と部位ごとの採用状況を詳報します。また、自動車メーカーをはじめ、グループ/独立・協力部品メーカー各社における各樹脂部品の生産状況と材料調達状況を一覧表にてまとめます。

第IV部では、自動車メーカーごとに樹脂部品の採用状況、樹脂部品の内製状況及び保有設備、主要樹脂材料の調達状況、グループ企業における樹脂部品の生産状況と材料調達、成型設備の保有状況を調査・整理します。

第V部では、独立系・協力部品メーカー各社における樹脂部品の生産状況と材料調達、成型設備の保有状況を調査・整理します。

< キ リ ト リ >

◆ 申 込 方 法



フリーダイヤル

FAX 0120-020-472

電話 052-451-8221(代)
03-3255-3461(代)

※フリーダイヤルFaxをご使用になれない場合は、Fax 052-451-8246 をダイヤルしてください。また、電話による受け付けも行っております。

株式会社 アイアールシー 営業部

本 社：〒453-0801 名古屋市中村区太閤4-4-9 TEL.052-451-8221(代) FAX 052-451-8225
I R C 東京：〒101-0023 東京都千代田区神田松永町7 TEL.03-3255-3461(代) FAX 03-3255-3463

< I R C 行 オ ー ダ ー フ ォ ー ム >

◎弊社では見計りによる販売も行っております。通信欄に必要事項をご記入ください。

自動車樹脂部品の生産状況と材料調達 2006年版

定価：102,900円 部

■発刊：2006年9月3日

■体裁：A4判/450頁

■当社の定価および予約価格(発刊までの代金前納に限る)は、消費税込、送料込み価格です。但し、海外への発送費はお客様負担となります。

◎封筒に貼付してあります顧客ラベルで、住所・担当者変更等がございましたら、このオーダーフォームに新旧をご記入の上、ご連絡ください。

会 社 名：

住 所：〒

電 話：

F a x：

購 入 部 課：

担 当 者 (氏 名)：

印 フルネームで
ご記入ください。役 職：

通 信 (見計り希望など)：

自動車産業レポート

○チェック

※1ヶ月間の無料見本誌送付を希望 []